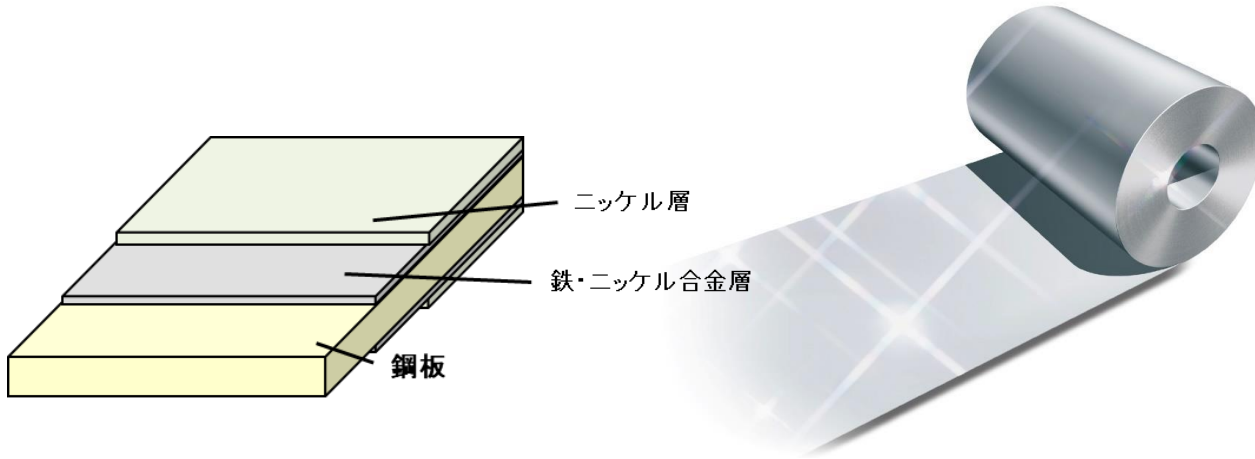




日本製鉄株式会社

ニッケルプレめつき鋼板

■ スーパーニッケル[®]
(SUPERNICKELTM)



算定単位

1 t

算定対象段階

最終財 中間財

製造段階（原材料調達、生産）及び間接影響

製品の型式、主要仕様・諸元

製造サイト：瀬戸内製鉄所

主な規格：日本製鉄規格（NTSN、NTSNC等）

形状：コイル、フープ、シート

主な板厚（単位：mm、t = 板厚）

t = 0.15~1.0

問い合わせ先

日本製鉄株式会社
薄板技術部 ブリキ技術室
TEL: 03-6867-6555

登録番号	JR-AW-22017E-A
適用PCR番号	PA-180000-AW-05
PCR名	鉄鋼製品（建設用を除く）中間財
公開日	2022年11月1日
検証合格日	2024年1月29日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-AW-24023
検証有効期間	2029年1月28日

PCRレビューの実施

認定日等	2023年5月10日
委員長	松野 泰也 (千葉大学)

第三者検証者*

外部検証員 内田 裕之

ISO14025に従った本宣言及びデータの独立した検証

内部 外部

*システム認証を受けた事業者内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

① ライフサイクル影響評価結果

影響領域	生産+間接影響※1	生産のみ※2	単位
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	2000	3100	kg-CO ₂ eq
酸性化	16	18	kg-SO ₂ eq
富栄養化	0.92	0.94	kg-PO ₄ ³⁻ eq

※1：(1),(2)および(3)の合計 ※2：(1),(2)の合計

内訳	項目	単位	(1)と(2)合計	(1)原材料調達	(2)生産	(3)間接影響
気候変動 IPCC 2013 GWP 100a	kg-CO ₂ eq	3.1E+03	7.2E+02	2.4E+03	-1.2E+03	
オゾン層破壊	kg-CFC-11eq	-1.0E-06	8.4E-08	-1.1E-06	-2.1E-07	
酸性化	kg-SO ₂ eq	1.8E+01	1.6E+01	1.8E+00	-1.8E+00	
光化学オキシダント	kg-C ₂ H ₄ eq	1.3E-01	1.1E-01	2.6E-02	-2.5E-01	
富栄養化	kg-PO ₄ ³⁻ eq	9.4E-01	9.0E-01	4.1E-02	-2.1E-02	

② ライフサイクルインベントリ分析関連情報

項目	単位
非再生可能資源	6.3E+02 kg
再生可能資源	9.5E+02 kg
非再生可能エネルギー	3.8E+04 MJ
再生可能エネルギー	5.2E+01 MJ
淡水の消費	1.0E+00 m ³

③ 材料及び物質に関する構成成分

項目	単位
鉄[Fe]	≥79.1 %
マンガン[Mn]	≤0.60 %
ニッケル[Ni]	≤20 %
クロム[Cr]	≤0.10 %
銅[Cu]	≤0.20 %

④ 廃棄物関連情報

項目	単位
一般廃棄物 埋立物	0.0E+00 kg
産業廃棄物 埋立物	1.6E+00 kg

※ライフサイクルにおける廃棄物量を示しています。

⑤ 算定結果に関する追加情報

- 1)間接影響として、JIS Q 20915に基づく鉄鋼材料のリサイクル効果を評価し、本宣言上①ライフサイクル影響評価結果内訳表の間接影響列にその値を記載した。間接影響分は上記の表①～②の合計値に加算される。
計算に使用したリサイクル率は93.0% (計算はJISQ20915に従い、2018年度の国内データ (出典：日本鉄鋼連盟、鉄源協会、スチール缶リサイクル協会) を使用)
- 2)輸送シナリオはPCRに従った。
- 3)本シート上、③材料及び物質に関する構成成分について、鉄以外は、対象となる鋼材規格の各上限値のうち最大のものを示す。
- 4)算定結果は個別の製品の数値を表すものではなく、日本製鉄の取り扱う全てのニッケルプレめっき鋼板スーパーニッケルに該当する製品群の平均値である
- 5)一次データは、2018年度の実績値を使用した。電力原単位は「電力、一般電気事業者10社平均、2014年度」を使用した。
- 6)原料炭の輸送については、利用した原単位データベースの性質上、原単位が原料炭の項目と石炭輸送に二重計上となっている。

⑥-1. その他の環境関連情報

ISO14001認定工場で生産している。

⑥-2. 有害物質に関する情報

項目	CAS No.	法令等
マンガン	7439-96-5	労働安全衛生法施行令
ニッケル	7440-02-0	労働安全衛生法施行令
クロム	7440-47-3	労働安全衛生法施行令
銅	7440-50-8	労働安全衛生法施行令

⑦ 使用した二次データの考え方

IDEA v2.1.3を使用した。また、スクラップ原単位 (スクラップ LCI) は原単位登録番号：JP-AJ-0001を使用した。

⑧ 備考

2024年1月外販プロセスガスの取り扱いを修正した。

2024年11月 エコリーフマークからSuMPO EPDマークに変更した。組織改正を反映した。

- データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。
- 比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。
(参照先URL：<https://ecoleaf-label.jp/regulation/>)